

# 給餌方法の見直しによるギンザケ養殖効率化

## 技術の概要

従来の飽食給餌(毎日)ではなく、**制限給餌**を行なうことにより生産コストの削減が可能かについて検討しました。

省力化

毎日給餌



隔日給餌

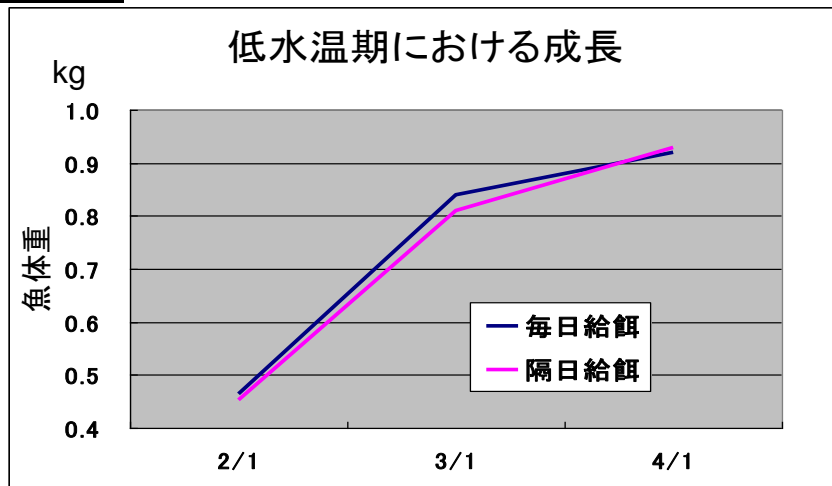
低水温期(10℃以下)は隔日給餌によりコスト削減が期待できます

## 期待される効果

### H28年度試験結果

無加水飼料を飽食量で毎日給餌と制限給餌での比較

**低水温期(2~4月)**は毎日給餌区と隔日給餌区の間  
**成長差はなく、給餌量を約10%削減**できました。



※水温上昇期(5月~7月)には週5日制限給餌が毎日給餌の成長を下回りました。

【お問い合わせ先】 黒川 忠英

(国立研究開発法人水産研究・教育機構 北海道区水産研究所  
生産環境部 TEL: 0154-91-9136)